

愛知製鋼グループ

2030年ビジョン概要

2020年8月4日

AICHI STEEL

つくろう、未・来を。

つくろう、素・材で。

Company of Choice Globally ～世界中で選ばれる会社へ～

意思決定スピード向上 ⇒ カンパニー制
全従業員共通の価値観 ⇒ Aichi Way

New Aichi Steelの発信 ⇒ ブランディング推進
労使一体の体制強化 ⇒ 労使協調宣言



新本館竣工

カンパニー制導入

Aichi Way



Aichi Way制定

AICHI STEEL

つくるう、未来を。
つくるう、素材で。



創立80周年
ブランドスローガン
労使協調宣言

2017

2018

2019

2020

AICHI STEEL

つくるう、未・来を。
つくるう、素・材で。

素材メーカーから部品、システムメーカーに進化
革新的な素材や部品を作ることを通して
モノづくりの可能性を広げる会社へ

自動車は100年に1度の大変革期を迎え
会社を取り巻く社会・経済環境も大きく変化



すべてのステークホルダーに
会社が将来めざす姿を発信する



Company of Choice Globally

2030年ビジョンの策定

社会

温暖化対策・地球環境保全

ESG・SDGsへの取り組み

働き方改革・ハラスメント対策

事業

CASE、MaaSの進展

特殊鋼、鍛造品の需要減少

インフラ危機への対応

鉄鋼業界

「稼ぐ力」再構築が課題

業界再編の可能性

トヨタGのホーム&アウェイ
「競争力」がカギ

ESG経営

- 持続可能な地球環境への貢献
- 事業の変革で豊かな社会を創造
- 従業員の幸せと会社の発展

収益力強化

- 分数経営 =
$$\frac{\text{(分子) 環境変化に対応した事業変革 売上↑}}{\text{(分母) TPSと品質を中心としたモノづくり変革 コスト↓}}$$
- 事業ポートフォリオの変革 (ステンレスとスマートの強化)

■ 持続可能な地球環境への貢献

1

環境責任を果たす

環境危険物質ゼロ化 / 自動車リサイクル100%

2

低炭素社会に貢献

高いエネルギー効率 / 排熱利用、再生可能エネルギー

3

自然との共生

生物多様性を守る活動



■ 事業の変革で豊かな社会を創造



1

既存事業の変革

電動車用素材・部品開発 / インフラ用ステンレス拡大

2

新分野（スマート）へ事業展開

医療・農業・セキュリティ分野 / GMPS技術で自動運転へ貢献

3

モノづくりからコトづくりへ

開発力、エンジニアリング技術向上 / TPSの“シンカ”（進化、深化）



■ 従業員の幸せと会社の発展

1

安全・安心な職場環境

災害ゼロの実現 / ハラスメントのない職場風土

2

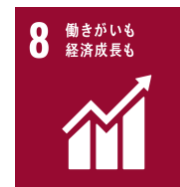
ワーク・ライフの充実

やりがい、生きがいの醸成 / 働き方改革の推進

3

自律型人材の育成

スタッフ生産性向上 / 個性と多様性の尊重



鋼 カンパニー (特殊鋼)

- モビリティ変革に貢献する素材提供
- プロセス改革によるコスト低減、エネルギー効率向上
- グローバル展開による挽回

具体的な施策

- 鍛鋼一貫のメリットを生かした機械加工領域拡大 ⇒ 電動車部品拡大へ
- 製造工程やレイアウトの抜本的見直し・スリム化と技術のブレークスルー
- インド バルドマン社を活用したグローバルでの最適鋼材サプライチェーンの構築



鍛 カンパニー (鍛造品)

- 熱間鍛造から部品・完成メーカーへ
- 新商品開発で、既存品減少を補完
- 多品種生産を可能にする体制を整備
- 国内開発技術の海外展開、市場開拓

具体的な施策

- 鍛造以降の機械加工などを内製化し、当社製品の付加価値を拡大
- 部品開発委員会の創設 ⇒ EV、FCV用の新商品開発に注力
- 段取り替え時間短縮、IT活用、ロボット化などで多品種生産ラインを具現化
- 品種ごとのグローバル担当を設け、設計・品質・原価においてマザー機能を発揮

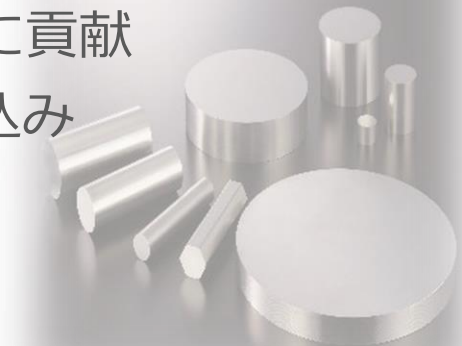


ステンレス カンパニー

- インフラ危機対応素材・部材
- 水素社会対応製品
- 鋼材提供だけでなく構造物設計施工分野の強化

具体的な施策

- 新製品開発と部品・部材分野の拡大でインフラ需要に対応、国土強靱化に貢献
- FCV用材料開発と液化、運搬、貯蔵など水素エネルギー関連市場の取り込み
- ステンレスAE (Architectural Products & Engineering) 部門の強化による構造設計、工場製作、現場施工の一貫ステンレス鋼メーカーへの成長



スマート カンパニー

- リソース戦略的投入による5事業の飛躍的成長
(電子部品、磁石、センサ・金属繊維、デンタル、鉄供給材)
- 自動運転支援システム (GMPS)の事業化

具体的な施策

- 電子部品：高品質で信頼性の高い「電動車向け放熱部品」の開発
- 磁石：新磁粉開発・信頼性向上で採用拡大、グローバル磁石製造の強化
- センサ・金属繊維：微小磁気のセンシング技術で自動運転、セキュリティ分野に貢献
特にGMPSは安価かつ信頼性の高いシステムとしてPR
- デンタル：新製品の開発と市場投入で、顧客ニーズへきめ細かく対応
- 鉄供給材：作物の育ちにくいアルカリ土壌用製品の開発で食料問題解決に貢献

全社 目標

連結売上高 **3,400億円** 以上

連結営業利益 **200億円** 以上

2030年ビジョン

21-23 中計

24-26 中計

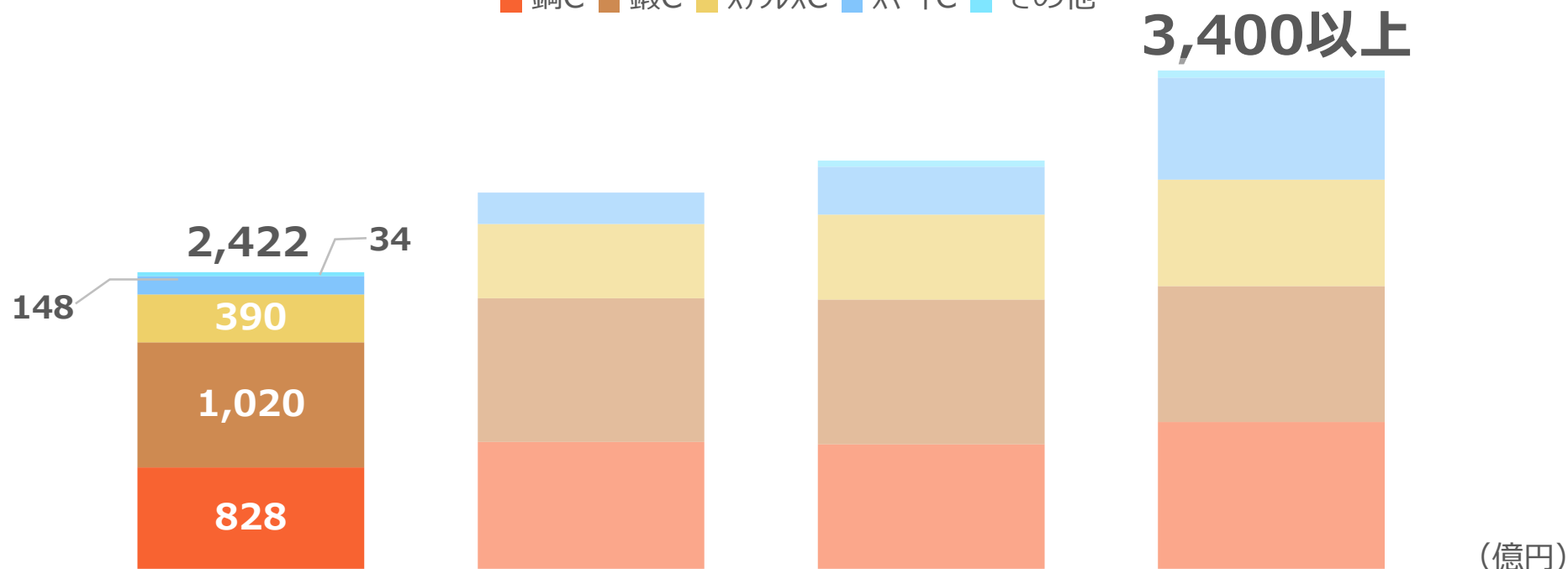
27-30 中計

連結
売上高

2019年 2,422億円 → 2030年 **3,400億円** (40%UP)

ステンレス + スマート比率 約20% → **45%**

■ 鋼C ■ 鍛C ■ ステンレス ■ スマートC ■ その他

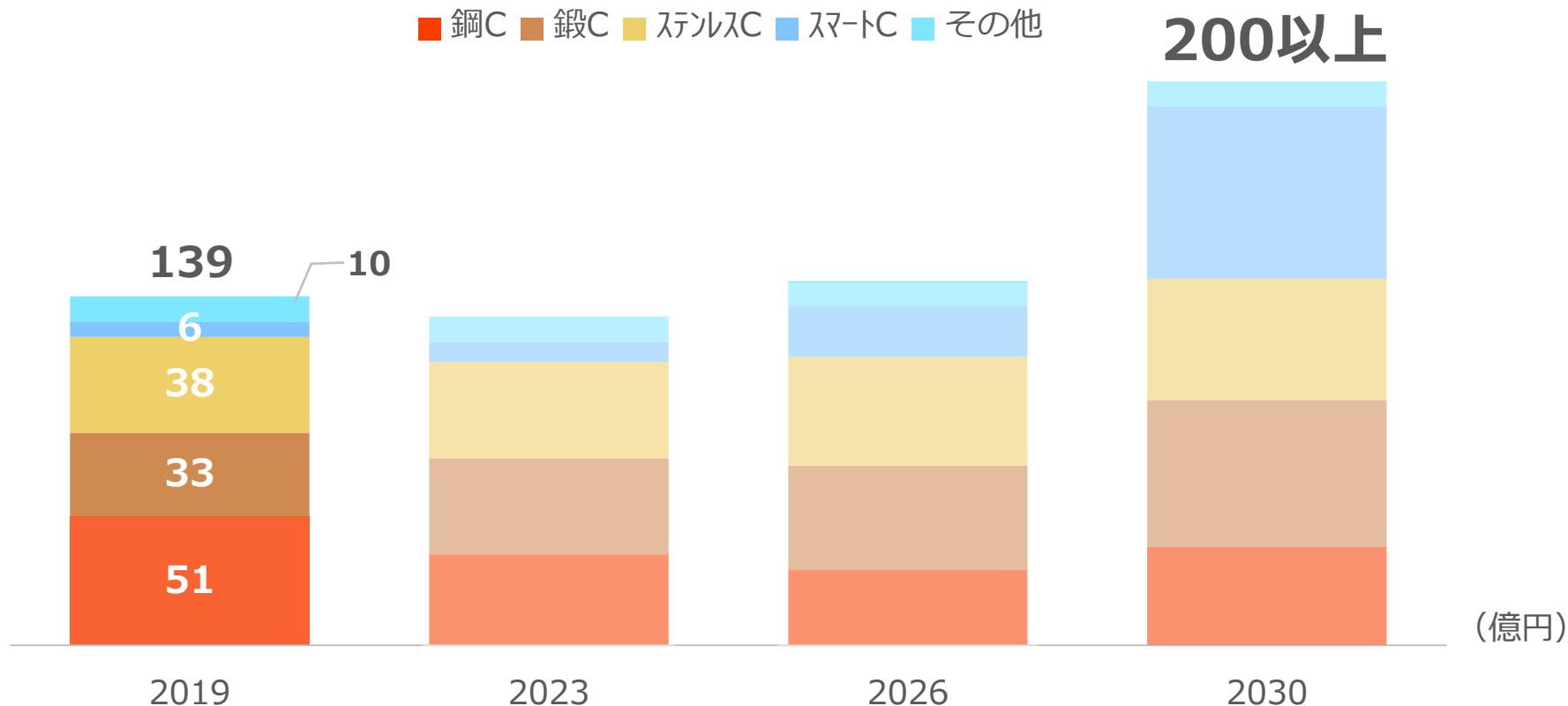


連結 営業利益

鋼と鍛は環境変化による自然減をグローバル展開、
電動車対応の部品開発などで挽回

ステンレス + スマート比率 約30% → **50%**

■ 鋼C ■ 鍛C ■ ステンレスC ■ スマートC ■ その他



社会

温暖化対策・地球環境保全
ESG・SDGsへの取り組み
働き方改革・ハラスメント対策

**新型コロナウイルスの影響
経済・社会活動の停滞、需要減**

事業

CASE、MaaSの進展
特殊鋼、鍛造品の需要減少
インフラ危機への対応

鉄鋼業界

「稼ぐ力」再構築が課題
業界再編の可能性
トヨタGのホーム&アウェイ
「競争力」がカギ

コロナショック後に起きる変化への対応

- 数年は先の見通しが立てにくい状況が続く
⇒ 需要がこのまま減り続ける？ 回復する見込みはあるのか？
- 新しい経済、ライフスタイルの到来
⇒ 『ニューノーマル』『With CORONA』が当たり前の時代へ

ESG経営

- 持続可能な地球環境への貢献
- 事業の変革で豊かな社会を創造
- 従業員の幸せと会社の発展

収益力強化

- 分数経営 =
$$\frac{\text{(分子) 環境変化に対応した事業変革 売上 ↑}}{\text{(分母) TPSと品質を中心としたモノづくり変革 コスト ↓}}$$
- 事業ポートフォリオの変革 (ステンレスとスマートの強化)

コロナショック後に起きる変化への対応

● 限量経営の推進

TPS、カイゼン活動を更に進化させ、

変化に機敏に対応できる「構え」を構築

- ・ 設備投資や要員の見直し
- ・ 需要変動に対応可能なフレキシブル生産体制

● 従業員の働き方改革

- ・ 在宅勤務、テレワークの拡充、IT化推進
- ・ オフィス環境、会議などの仕事のやり方を見直し

全社一丸となって2030年ビジョン達成へ！



AICHI STEEL

つくろう、未・来を。

つくろう、素・材で。

